



KODOBOKUセミナー

KODOBOKUの誕生と活用範囲の拡大

2026年2月17日(火)

14:30~17:00

参加費不要

(株)シーテック 大高ビル

名古屋市緑区忠治山101番地

JR東海 JR東海道本線 南大高駅より徒歩約15分



会場には駐車場がございませんので公共交通機関でお越しください。

お申込は
コチラから



KODOBOKUセミナー参加申込書-フォームに記入する

*申込期限:2026年2月6日(金)

*参加定員:会場 100人・オンライン 1000人

会場参加、オンライン参加いずれの場合も

上記二次元コードよりお申し込みください。

オンラインを選択した方にはzoomのアクセス情報をお送りします。

【お問合せ先】

(株)シーテック 総務部 総務・広報G

ml-0200020102270@ctechcorp.co.jp

TEL 052-710-6300



鉄塔敷地施工事例



KODOBOKU技術適用事例



史跡における施工事例



【工事内容】

- ・流水シミュレーションによる史跡内への雨水の流入解析
- ・裏山林部での流水抑制と分散排水対策
- ・土壌改良とマット型簡易水路による排水対策



主催：バイオコミュニティ関西 KODOBOKU分科会（代表幹事 株式会社シーテック）

後援：バイオコミュニティ関西 NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

C-Tech
株式会社シーテック

中部電力グループ

KODOBOKU (古・小・個土木) とは…

KODOBOKU(古・小・個土木)技術は、送電鉄塔の保守から生まれた工法です。山間地における豪雨災害の危険予測を行うとともに、現地素材を活用した資材や人力による施工で、最適な敷地保護を実現させる環境負荷の小さい技術です。シーテックは、豊かな自然を守り、人類のウェルビーイングを達成するために、下記5つを実践します。

- 1. 史跡保護
- 2. 林道・登山道補修
- 3. 農地の保護
- 4. 森林環境保護
- 5. 災害における応急復旧、減災

本セミナーでは、KODOBOKU技術の誕生の経緯、資機材の紹介、および、これまでの施工事例を紹介します。特に、史跡における適用事例である愛知県幸田町「本光寺」について紹介します。また、KODOBOKU技術の可能性について、宮崎大学との共同研究内容について紹介します。トークセッションでは、史跡保護や自然環境保護への貢献を目指して、KODOBOKU技術の今後の展開ならびに応用の可能性について議論します。

プログラム

14:30～14:35 開会挨拶

株式会社シーテック
代表取締役社長
下廣 大輔

14:35～14:40 来賓挨拶

バイオコミュニティ関西
事務局長 村山 宜人氏

14:40～15:10 KODOBOKUの紹介(誕生～応用)

株式会社シーテック

◇ 休憩 15:10-15:20 ◇

15:20～15:40 愛知県幸田町本光寺事例紹介

愛知県幸田町教育委員会
神取 龍生氏

15:40～16:10 KODOBOKU技術の理論的展開

宮崎大学 工学部
土木環境工学プログラム
准教授 福林 良典氏

◇ 休憩 16:10-16:20 ◇

16:20～16:55 KODOBOKU技術の活用範囲の拡大(トークセッション)

愛知県幸田町教育委員会 神取 龍生氏
宮崎大学 工学部 土木環境工学プログラム准教授 福林 良典氏
一般社団法人日本森林技術協会 技術指導役 落合博貴氏
(モデレーター) 株式会社シーテック 山田 勝也

16:55～17:00 閉会の挨拶

株式会社シーテック
取締役上席執行役員
外岡 宏章

◇ 交流会(懇親会) : 17:20 - 18:30 ◇